



校長室だより

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和3年10月28日 発行
第7号

行事をとおして子供たちを育てる



先日、「こだまステージ発表会」が終了しました。コロナ禍の中で、演じる子供たち、見ていただく観客の皆さんの安全をいかに確保して実施するかを検討し、例年行っている「学芸会」ではなく、「こだまステージ発表会」と形を変えての発表とさせていただきました。観客席の間隔をとり、十分な換気を行いながら観客の皆さんの感染症対策をとらせていただきました。また、ステージで演じる子供たちの安全対策として、お互いが向かい合い、距離が近くなる劇を止め、お互いの距離をとりながら、前を向いて発表するという内容に変更しました。今回も地域の皆様をお招きすることができず、歯がゆさでいっぱいですが、何とぞ御理解いただければと思います。

「こだまステージ発表会」は、これまで行ってきた学芸会とは少し趣が違い、各学年ごとの工夫がたくさん見られた発表会となりました。詳細については、今月の学校だよりに掲載していますので、そちらを御覧いただければと思います。

さて、学校では様々な行事を行っています。それぞれの行事にはねらいがあり、子供たちにどんな力を身に付けさせるか、どんな力を高めていくか等を意識しながら計画、運営していきます。例えば、今回の「こだまステージ発表会」では、

- ① 日常の学習成果を楽しく発表する活動を通して、学校生活を一層豊かにする。
- ② 協力して舞台表現を行う経験を通して、共同・責任などの社会態度を育成する。
- ③ 保護者並びに地域社会の学校に対する理解と協力を促進する機会とする。

という三つのねらいをもって実施しました。私としては、三つのねらいが概ね達成できた「こだまステージ発表会」ではなかったかと感じています。これも、新しい形での実施に対し、知恵を絞ってくれた先生方、発表を楽しみ一生懸命取り組んだ子供たちのおかげだと感じています。

一つ学校行事を終えると、子供たちが急に成長したと感ずることがあります。それは、子供たちがその行事に一生懸命取り組み、達成感を得たときではないかと思っています。この達成感の積み重ねこそが、子供たちの成長を促していく源ではないかと感じています。

学校では「行事をとおして子供たちを育てる」ということを含い言葉にしながら、子供たちが一回りも二回りも成長することができるよう支援をしていきたいと考えています。保護者の皆様や地域の皆様にも、子供たちの成長を後押ししていただければ幸いです。

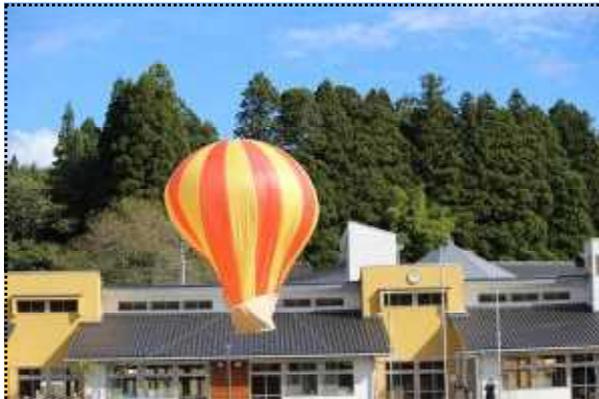


月立っ子ギャラリー



今月も子供たちは楽しく、そして一生懸命学校生活を送りました。
子供たちの元気な様子を御覧ください。

ホームページでは、子供たちの様子を毎日公開しています。ぜひ
そちらも御覧ください。



科学巡回 熱気球が上がりました



科学巡回 ペットボトルロケット発射！



大きなさつまいもを掘ろう！



みんなで力を合わせて！



全校児童で、花の苗を抜きました



森里海研究所で勉強してきました